

置県140年記念 I

令制「日向国」の誕生

～古墳から役所・寺院の時代～

令和5年4月22日(土) ▶ 6月11日(日)



観覧料

無料

関連講座情報

日時 | 2023年5月27日(土) 13:30～15:00

会場 | 西都原考古博物館 1階大ホール

講師 | 柴田博子氏(宮崎産業経営大学法学部 教授)

演題 | 令制「日向国」の誕生

令和5年度 宮崎県立西都原考古博物館 企画展

置県140年記念 I

令制「日向国」の誕生

～古墳から役所・寺院の時代へ～

今から約1300年前の奈良時代に、現在の宮崎県の範囲に近い地方行政区分が定められました。これが律令制に基づく「日向国」になります。令制「日向国」の誕生によって、これまで権威や地域支配の象徴であった前方後円墳から、役所や寺院の時代へ世の中が大きく変化を遂げました。

本展示会は、西都原古墳群や日向国府・日向国分寺などからの出土品の紹介を通じて、当時の時代像を読み解くものです。

I 前方後円墳の終わりと群集墳の時代

西都原古墳群では、古墳時代の終わり頃になると、豪族達の古墳は前方後円墳から大型の円墳へと変化します。鬼ノ窟古墳の出現です。

この頃、小さな円墳や横穴墓などが古墳群内で密集して築造されます。群集墳化という新たな動きです。こうした古墳群の変容は、次の時代への序章といえます。



金環と玉類(酒元ノ上横穴墓群) 当館蔵

II 令制「日向国」の誕生と日向国府の成立

奈良時代という新たな時代、令制「日向国」を統治する官庁が「日向国府」です。現在の県庁に近い性格の施設で、そこでは国司によって政務や儀式が行われました。

古墳時代に引き続いて、古代においても政治・経済の中心が西都原台地周辺だったのです。



畿内産土師器(日向国府跡ほか) 西都市教育委員会・宮崎県歴史文化財センター蔵

III 仏教文化の浸透と日向国分寺

日向国分寺跡とは、奈良時代に聖武天皇の詔により仏教による国家鎮護のために、国分尼寺とともに全国に造営された国分寺の一つです。

日向国分寺の発掘調査成果や宮崎市下北方地区で発見された古代寺院の出土品を中心に、花開く仏教文化の様相を紹介します。



「寺」と墨書された土器(余り田道跡) 宮崎県歴史文化財センター蔵

IV 奈良時代における人々の暮らし

奈良時代になると、瓦や須恵器生産が本格化して国府や国分寺に納入されるなど、手工業生産とその流通が活発化していきます。

当時の人々の暮らしぶりが読み取れる遺物や遺構を通じて、モノやヒトの移動や交流のあり方を探ります。



煮炊具と食器(丸山道跡) 当館蔵

行ってみよう!

日向国府跡・日向国分寺跡・西都市歴史民俗資料館

西都市歴史民俗資料館 Tel:0983-43-0846 開館時間:9時00分～17時00分(入館は16時30分まで)



関連講座 令制「日向国」の誕生

2023年5月27日(土) 13:30～15:00

講師 | 柴田博子氏(宮崎産業経営大学法学部 教授)
会場 | 西都原考古博物館1階大ホール

令和5年度 展示会情報

特別展「大地を刻む」～変化する日向の城～
2023(令和5)年7月8日(土)～9月3日(日)